

令和7年度 七飯町立七重小学校学校経営方針

校長 五十嵐 義幸

1 学校教育目標

◎深く考える子ども

・ものごとを深く考え、正しく判断し、なにごとにも工夫して最後までやりとげる子ども

◎明るく思いやりのある子ども

・明朗で礼儀正しく、美しいものに感動し、他人の立場で考える思いやりのある子ども

◎丈夫でたくましい子ども

・健康で丈夫な身体とねばり強さを持ち、働くことに喜びを持つたくましい子ども

2 本校で育成する児童の資質・能力 . . . 「共に生きる力」の育成

3 目指す姿（子どもへのリスペクト）

- (1) 学校の姿 子ども一人一人のよさや可能性を引き出す学校
- ◆子どもにとって 《安全な行きたい学校》
 - ◆保護者にとって 《安心な通わせたい学校》
 - ◆教職員にとって 《働きがいのある学校》
 - ◆地域住民にとって 《足を運びたい学校・応援したい学校・参加したい学校》
- (2) 子どもの姿 互いのよさに気づき、認め合える子ども
- ◆相手の立場を考えて話を聞き、思いを受け止める
 - ◆自分の思いや考えをわかりやすく伝える
 - ◆学んだことを生かし、他者と協力して課題を解決する
- (3) 教職員の姿 教育的愛情をもち、主体的に資質・能力向上に取り組む教職員
- ◆子どもの個性を尊重し、よさや可能性を伸ばす
 - ◆子どもに積極的に関わり、確かな資質・能力を育む
 - ◆学校づくりを担う一員として連携して課題解決に取り組む

4 令和7年度重点教育目標

ともに学ぶ中で、互いのよさに気づき、違いを認め合える子どもの育成

5 学校経営のキーワード

- 育成
- 共感
- 健康
- 連携
- サポート
- マネジメント

※グラウンドデザイン参照

6 具体的な取組

(1) まなび

①資質・能力を身に付ける

- (ア)指導の個別化と学習の個性化を基盤とする「個別最適な学び」の推進
- (イ)他者を価値ある存在として尊重し、多様な他者と学び合う「協働的な学び」の推進
- (ウ)子ども一人一人の学びを支えるICTの適切かつ効果的な活用
- (エ)教員の授業力向上及び授業改善の推進
- (オ)基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る学習活動の充実
- (カ)全国学力等調査、CRT検査等の結果分析に基づいた指導の工夫・改善
- (キ)主体的・対話的で深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント
- (ク)単元を通して身に付けさせる資質・能力（知識・技能，思考力・判断力・表現力等，学びに向かう力・人間性）の明確化
- (ケ)専門性を生かした教科担任制の推進（理科専科、外国語専科）
- (コ)学年担任制実施を見通した学年内での教科担任制の運用
- (サ)外国語でのデジタル教科書の効果的な活用
- (シ)学習規律（七小スタイル）の徹底
- (ス)小中連携による「目指す15歳の姿『つながり 高め合い 切り拓く人』」につなげる総合的な学習の時間（地域学習）の推進

※夢のある町七飯町プロジェクト

②望ましい学習・生活習慣を身につけさせる

- (ア)家庭学習（七小スタイル）の活用と家庭との連携・協働
- (イ)「よくわかる七重小学校」の周知及び家庭との連携の充実

③様々な研修を通じた教員の資質・能力の向上

- (ア)日々の授業の改善・充実に直結する校内研修の推進
- (イ)日常実践の積極的な公開と交流
- (ウ)研修履歴の活用と対話に基づく受講奨励

(2) こころ

①安心感と充実感を創り出す

- (ア)人間関係形成力（共感的な人間性や自己有用感）を育成する学級経営の改善・充実
- (イ)学校、家庭、地域及び関係機関等と連携した生徒指導の充実
- (ウ)「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の展開による「よりよく生きるための基盤となる道徳性」の育成
- (エ)集団でのガイダンスと個別のカウンセリングによる児童の発達の支援
- (オ)児童理解に基づく共感的な教育相談及びチームでの指導、援助体制の構築
- (カ)児童理解支援ツール等を活用した児童の状況の把握
- (キ)児童生徒支援加配教員を核とした児童生徒理解の充実及び共有

②安全・安心な学びを支える教育環境等の整備

- (ア)学習・生活環境のユニバーサルデザイン化
- (イ)学びやすく、学習効果を高める教材・教具の整備と活用
- (ウ)安全点検の実施及び施設・設備等の環境整備
- (エ)PTA、学校運営協議会、七小見守り隊及び関係機関との連携

③いじめの未然防止・早期対応及び継続的な対応

- (ア)いじめ防止基本方針及びいじめの未然防止・早期対応、事例研究等についての校内研修会の開催
- (イ)いじめに関する情報共有の徹底や積極的な認知及びいじめ対策委員会を核とした組織的な対応
- (ウ)学校全体での「いじめを許さない」環境づくり及びいじめ防止プロジェクトの実施
- (エ)高度情報化社会に身に付けておくべき情報モラルの育成

④不登校児童への支援の充実

- (ア)不登校の未然防止及び要因の多面的な把握やアセスメントに基づく個に応じた支援
- (イ)教育支援センターレインボーやフリースクール等との連携
- (ウ)個々の状況やニーズに応じた学びの機会の確保及び環境の整備
- (エ)不登校児童及び保護者の意向を踏まえた適切な評価

④学びのセーフティネットの構築

- (ア)ヤングケアラー等に対する教員の理解を深める研修等の実施
- (イ)関係機関との連携による一人一人の実情に応じた支援

⑤教育公務員として求められる服務規律の厳正な保持，法令等遵守の徹底

(3) からだ

①健やかな体の育成

- (ア)全国体力等調査及び新体力テスト（全学年全種目実施）の結果を活用した体育授業の改善による体力向上
- (イ)校内での体力づくりの日常化
- (ウ)季節に応じたスポーツ（水泳）の実践及び評価・改善
- (エ)放課後や休日等の運動機会確保に係る家庭への呼びかけと情報提供
- (オ)保健教育や保健指導の推進（主体的な健康増進の取組への指導・支援）
- (カ)食育の推進（望ましい食習慣の定着，食品ロスへの意識，感謝の心等）

②健康・安全指導の充実

- (ア)学校保健計画の改善・充実（健康・保健管理，保健指導，保健学習及び学校環境衛生等）
- (イ)薬物乱用防止教育，性教育等の推進による児童の健康意識の向上

③危機管理マニュアル等の改善・充実

- (ア)正しい知識と適切な行動を身につけさせる防災教育
- (イ)学校安全計画及び危機管理マニュアルの改善
- (ウ)生活安全・交通安全・災害安全の未然防止
- (エ)事案発生時の迅速・適切な組織的対応の徹底を図る研修
- (オ)食物アレルギー対策マニュアルに基づいた校内体制の整備，家庭との連携及び児童の状況に応じた対応（エピペン講習会、AED講習会等）
- (カ)児童虐待の早期発見及び児童の安全を確保する対応の組織化

(4) 地域とともにある学校づくり

- ①学校運営協議会による学校運営への必要な支援に関する協議
- ②七小ハッピーサポーターズ等との連携・協働による地域総ぐるみの教育活動の推進
- ③社会の急激な変化に対応できる資質・能力を身に付けさせるキャリア教育の充実
- ④七飯町の「ひと・もの・こと」を生かした学習機会の充実
 - ※ 町文化センター、歴史館、交番、消防署、スーパー、その他
- ⑤探究的な学びを深める総合的な学習の時間（地域学習の充実）
- ⑥七飯町情報防災課と連携した防災教育の実施
- ⑦持続可能な社会の創り手の育む教育の推進（ESD）
- ⑧学校図書館の改善・充実及び図書ボランティアとの連携や地域開放に係る検討
- ⑨教育活動の効果的な発信（通信，HP）及びあんしんメールの活用

(5) インクルーシブ教育を目指す特別支援教育の改善・充実

- ①一人一人の教育的ニーズに的確に応える指導・支援の工夫
- ②多様性を尊重し，ねらいを明確にした交流及び共同学習の充実

- ③特別な支援を必要とする児童への効果的な支援体制の充実（特別支援教育支援員の活用，合理的配慮，ユニバーサルデザイン，ICTの活用）
- ⑤各校種及び関係機関等との連携による連続性のある多様な学びの場の充実
- ⑥個別の教育支援計画の活用・改善及び保護者との共通理解
- ⑦通級指導教室設置に向けた準備
- ⑧文部科学省インクルーシブな学校運営モデル事業（七飯養護学校・七飯中学校）への協力

（６）学校における働き方改革の推進

- ①子どもと向き合い，教育活動の質を高める働き方改革の工夫
- ②教員が教育活動等の業務に専念できる環境整備の推進
- ③ICTを活用した業務の効率化
- ④在校等時間の客観的な把握及び見通しをもった業務推進
- ⑤校務支援システムの効果的な運用による業務環境の整備
- ⑥一斉定時退勤日（月２回）の完全実施及び自己設定定時退勤日（月１回）の設定及び周知
- ⑦勤務時間の割振り変更や変形労働時間制等の適切な運用
- ⑧学校共同連携事務室の活用及び事務職員の学校運営参画の促進
 - ※ 加配事務職員の活用
- ⑨必要に応じたスクールロイヤー（学校における法務相談支援事業）の活用

（７）関係機関に協力する取組

- ①香川県三木町との小学生交流事業への協力（R7.10.30～11.2派遣予定）